

札幌市立上白石小学校の取組 【読書：図書館モデル公開授業】

1 研究のねらい

- 本を探す活動を通して、本の分類法や配架の工夫などについて知るとともに、自分たちの調べ学習に、より図書館の本を利用しようという意欲をもつ。
- 「奥付」に着目し、奥付からも重要な情報が得られることを知り、異なった視点から本の面白さを感じとろうとする。

2 取組内容

子どもたちの周りには当たり前のようにネット環境があり、学習で何かを調べようとした際には、すぐに「パソコン室に行こう！」という状況になりやすい。インターネットで調べることも一つの方法ではあるが、図書館の本を通して、自分に必要な情報を探し出す楽しさや、その大切さをしっかりと味わわせたいと考えた。そこで、中央図書館のたくさんの蔵書に触れながら、楽しく本を探し出す活動ができるよう、昨年に引き続き「指令書」を活用した。本年度は、本校の総合的な学習の時間の活動である「福祉」「ユニバーサルデザイン」と関連付けた「指令書」を加えて、一時の活動に終わらせないようにした。

また、本の奥付にも着目させることによって、「どんな人が作ったのか」「いつごろ制作されたのか」「何度も改訂されているのか」「追加注文の入る人気の本なのか」といった、異なる視点から本の面白さを発見できるようワークシートを変更した。

	指令テーマ1	指令テーマ2	指令テーマ3
A	新聞の作り方	星座	<u>パラリンピック</u>
B	図書館	<u>盲導犬</u>	リサイクル

(1) 準備（教材づくり）

①指令書テーマの選定

子どもたちに提示する「指令」のテーマを、全部で36種類作成し、書架の配置が散らばるよう（※下線は「ユニバーサルデザイン」に関するテーマ）に組み合わせ、A～Lまでの12グループ分を用意した。1グループごと三つの指令書を受け取りことになる。さらに必ずユニバーサルデザインのテーマがひとつ入るようにしてある。

②テーマをもとに実際に子どもに渡す「指令書」を、以下のように作成した。

グループ	指令1	指令2	指令3
A	(A-1) 係活動で新聞係になったのはいいけれど、新聞の作り方がよくわからない。上手な新聞の作り方が知りたいなあ。	(A-2) 星ってとってもきれいなね。星座には、お話があってロマンチックだね。星座のことについてもっと知りたい！	(A-3) リオオリンピックで日本人も活躍したね。ところで、パラリンピックっていつからやってるの？パラリンピックの歴史について今すぐ知りたい！
B	(B-1) うわあ！中央図書館には本がいっぱいあってびっくりだ。どうしてこんなに本があるんだろう。図書館のことについて、もっと知りたい。	(B-2) コンビニのレジのところにかわいい犬の人形が付いた募金箱があったよ。目が不自由な人のための盲導犬を育てるためなんだって！もっと盲導犬について知りたいな！	(B-3) いつも給食時間に牛乳パックを洗ってリサイクルしてるけど、リサイクルって本当に意味があるの？リサイクルしたらどんなよいことがあるか分かる本を見つけて！

③指令を印刷した名刺大の用紙3枚を1組にして封筒に入れておく。

(2) 当日の活動

① 図書館の配架と本の探し方（十進分類法）

まず、十進分類法をもとに、図書館の配架の仕組みについて説明をしていただき、本の探し方の基本について学習した。子どもは、4月に本校で司書教諭から配架の基本について既に学んでおり、蔵書数が多い中央図書館で改めて説明を受けることで、十進分類法を実感としてとらえることができた。また、奥付についても解説をしていただいた。



② 「指令」の出題

- 1 司書さんから指令書の配付。
- 2 指令書に書かれたヒントをもとに、その内容が書かれた本を1人1冊選ぶ。
- 3 選んだ本をグループ内で読み合い、一番よいと思った本の奥付を記録する。
- 4 ワークシートの内容を担当に確認してもらう。

③ 活動の様子

指令を受け取った後、事前に配付された館内地図を見てすぐに目的の書架を見つけたり、十進分類法の一覧を見て、目指す書架の見通しを立ててから移動したりなど、配架の工夫について学んだことを生かして活動していた。本の選定後、福祉やユニバーサルデザインの学習にどのように役立つか、また、奥付の意義などについてグループで話し合った。



3 成果と課題

(1) 成果

- ◆ゲーム的な要素を盛り込むことで、子どもたちは楽しみながら「本の探し方」を学ぶことができた。
- ◆テーマを教師側から与えたことによって、自分の興味に関わらずいろいろな蔵書に触れることができ、子どもたちの読書の幅を広げることにつながることができた。
- ◆総合的な学習の時間の活動に関わる「指令」を取り入れたことにより、目的が明確になり意欲的に本を探す姿が見られた。
- ◆公開授業の振り返りでは、本への関心が低かった児童から「本を探す活動が楽しかったので、これからは図書館を利用したい」と発表があり、満足した様子であった。また、その後の「福祉」の学習では、自分たちに必要な資料を探す時、インターネットのほか、本の活用も増えた。
- ◆「奥付」をワークシートに記入させたことにより、その本がもつ情報の新鮮さや価値についても意識が向くようになった。



(2) 課題

中央図書館以外の公共の図書館との連携が課題。学校に近い公共図書館でこの活動が行えるならば、カリキュラムに位置付けやすくなる。また、図書館が児童にとって身近になり、放課後の利用につながると思われる。